

第62回 教育科学研究会 全国大会（北海道大会）

現地企画シンポジウム

地域の課題と向き合い このまちの子ども・若者とつくる実践

日時 8月6日(火) 14:30～17:00 (終了後、希望者による夕食交流会あり)

場所 札幌学院大学 新札幌キャンパス (JR 新札幌駅・地下鉄東西線 新さっぽろ駅 近く)

今大会が行われる北海道は、人口減少や一極集中などの全国的な課題の縮図であり、課題先進地の一つでもあります。こうした北海道の各地で、それぞれの地域の課題と向き合いながら、子ども・若者と共に実践を立ち上げていらっしゃる方々の実践の語りを通して、「地域の課題」の認識を深め、いまの子ども・若者の姿を捉え、私たち大人が取り組むべきことや問い直すべきことを、共に学び合う・考え合う機会にしたいと思います。

本企画が、学校/学校外、公/民間、教育/福祉などの立場を越えて、それぞれの地域の「未来」のイメージを膨らませ、その実現に向けた実践のヒントやアイデアとなり、一人ひとりの次なる行動の促し合い・励まし合いのきっかけになることを願っています。

報告者



大辻 雄介

大空町立北海道大空高等学校 校長



中津 茜

上士幌町 教育魅力化コーディネーター
一般社団法人 ねづく 理事



日向 洋喜

NPO法人 E-LINK 代表理事

島根県海士町や高知県土佐町にて「高校魅力化プロジェクト」に携わった後、大空町の高校新設にあたって学校づくりに参画し、初代校長として着任する。

地域おこし協力隊として上士幌町に移住して教育魅力化事業に携わりながら、一般社団法人を立ち上げて、行政と民間の両方の立場で活動している。

札幌で都会の中に田舎のようなつながりのある街「トカイナカ」をつくることを目的に、学童保育やフリースクールなど多様な取り組みを展開している。

- ・ **コメンテーター** 篠原 岳司 (北海道大学大学院教育学研究院 准教授 (学校経営論))
- ・ **司会** 高嶋 真之 (藤女子大学人間生活学部/教職課程 講師)

大会テーマ

危機を希望に一子どもとともに今を見つめ、未来をつくる

- 8月6日(火) 教科研講座、はじめの集い、夕食交流会
- 8月7日(水) 分科会(全18テーマ)
- 8月8日(木) 教育問題フォーラム、終わりの集い

参加申込みと大会詳細
はQRコードから
(※参加費あり)

<https://kyoukaken.jp/204149>

